

コロナ禍に思う文化芸術が持つ力

静岡市美術館副館長
元静岡市立中央図書館長
矢澤 嘉章



平成27(2015)年、政令指定都市図書館長会議に出席するため、初めて熊本市を訪問しました。この会議は、各政令市の図書館の現状や課題などの情報交換を通し、指定都市相互の協力と連携の推進を図ることを目的に輪番制で毎年開催されています。

会議後半には、図書館はじめ特色ある公共施設や文化財建造物等の視察が組まれ、新たな知見を得る絶好な機会となっています。

熊本会議では、国の特別史跡である熊本城跡も視察会場となり、広大な敷地と天守閣の壮大さに圧倒されたことを記憶しています。

しかし、翌年4月、熊本地方を震央とする最大震度7の地震が発生。熊本市内でも震度6強を観測し、市内各所に甚大な被害をもたらしました。熊本城も石垣の崩落や天守・櫓の瓦や鯨も落下するなど、重要文化財13棟全ての建造物が被災し、現在も修復に向けた作業が続いています。

平成29年、政令指定都市文化行政会議が奇しくも熊本市で開催されることとなり、再び熊本市を訪れました。

市内は、地震があったことが信じられないほど復旧が進んでいましたが、熊本城には足場が組み、巨大なクレーンに囲まれている姿は、地震の破壊力の凄まじさを物語っていました。

文化行政会議では、被害を受けた熊本市現代美術館の対応について事例発表がありました。熊本

市現代美術館は、静岡市美術館と同じく中心市街地に位置し、ホテルや商業施設との複合ビル3階にある美術館です。

現代美術館も休館を余儀なくされましたが、スタッフは自分たちが被災しながらも再開に向けた準備を重ね、発生から1ヶ月弱での開館を実現させました。

余震が続くなか、ライフラインの寸断や食料不足など、困難な避難生活を送る状況でも、再開を待ちわびる市民が大勢いたこと、緊張から一時でも解放される空間と時間＝「心の避難所」を多くの市民が必要としていたとの報告は、文化芸術の持つ「癒しの力」が、日常のみならず、非常時こそより発揮されるということを実感した瞬間でした。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大により、人の移動制限や外出の自粛、在宅勤務や時差出勤、イベントの開催規模制限など、日常生活が大きく変化するなか、静岡市美術館には多くの皆様に御来館いただいております。「楽しかった」「とても良い時間が過ごせた」「こんな状況でも開催してくれてありがとう」など、感謝や励ましのメッセージを頂戴しています。

コロナ禍の今だからこそ、楽しさや感動、精神的な安らぎや豊かさをもたらす環境の提供と活動の継続が、図書館や美術館など社会教育施設に求められていると思っています。

冬期 白毛門

静岡県読み聞かせネットワーク会長
(有)まるか勝山商店代表取締役

勝山 高

2月半ば、今冬に新調した冬用登山靴の足慣らしを兼ねて、白毛門を目指しました。白毛門は、新潟県境にほど近い群馬県みなかみ町に位置する標高1720mの山です。数年前の冬期谷川岳に登った際、正対に位置している急峻な山に魅かれましたが、それが白毛門でした。上越国境にそびえる谷川連峰の稜線は、湯檜曾川が刻んだ谷を取り囲むようにして馬蹄形に連なっており、白毛門から谷川岳まで稜線で繋がっています。白毛門は、このルート歩こうとする者の前に、文字通り門となって立ちはだかる山ですが、一ノ倉沢・マチガ沢といった日本有数の大岩壁を一望できる格好の展望台でもあります。



白毛門へ

朝6時、上越線の土合駅からほど近くにある登山口(660m)の気温は-8℃。この時期にしては異様な暖かさ。積雪はふもとの1mほど。踏み跡が明瞭なので、ラッセルを強いられることもなく忠実にルートをとっていきますが、いったんルートを外れると太ももまでの積雪。ほぼ直登の登山道は、斜度が40度近くの急登もしばしばで、たちまちに汗が噴き出る有様。聞きしに勝るとはこのことで、地図上で確認したとは言え想像以上の急斜面にコースタイムの倍近い時間を費やし、昼前ようやく八合目の松ノ木沢ノ頭(1484m)に到着。気象の厳しさから森林限界が1500m前後と低いので、目の前には谷川岳・一ノ倉岳をはじめとする谷川連峰の峰々が一望できます。頂上まではさ

らにコースタイムで50分ですが、とても1時間で登れるとは思えず景色も堪能したので、本日はここまでで良しとします。下山は、気温の上昇とともに雪がクサリ、アイゼンに団子状態となって歩き辛いことこの上もなく、ようようの思いで午後4時に出発点へ無事に戻りました。



谷川岳から一ノ倉岳

登山の楽しみは十人十色ですが、いずれにしても自然の懐に入ること、その大きさや厳しさ、生命力や豊かさといった人知を超えた絶対的な価値観にふれることができます。また、行動中は肉体的負荷によって、精神的な甘えであるとか過剰な自意識がそぎ落とされ、自らを真摯に見つめ直す心境にもなり、人として謙虚な気持ちになります。これは読書の世界にも通ずることではないでしょうか。いずれも自らの目で読み何かを感じ、己の足で登り新たな世界を拓くといった能動的な姿勢に拠るものでしょう。これからも読書に親しみ、山に教えられる時間を大切にしていきたいと思います。



誰でしょう?

註: 勝山さんは昨年12月、読み聞かせネットワークの活動が評価され、文部科学大臣より図書館法施行70周年を記念し、表彰されました。

この一年、これからの一年

総会・講演会等の報告

代表 田中 文雄

静岡図書館友の会の2021年度の総会と講演会は3月6日(土)、もくせい会館で、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置をしっかりとった上で無事開くことができました。会員のみなさまのご支援、ご協力に感謝申し上げます。



総会は40人の参加者により、昨年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画と予算、新役員が了承されました。昨年度は新型コロナウイルス感染の状況を見て、総会は中止、ドリアン助川氏の講演会は延期としました。この後、学校の休校要請、緊急事態宣言があり、講演会に続き、福島県立図書館司書・鈴木史穂さんの講座も延期しました。しかし、2回の会報の発行、ホームページの更新、市立図書館への図書・雑誌の寄贈は例年通り実施し、市立中央図書館と共催のしずとしょフェスタと市美術館のお話会に協力をしました。また、「新県立中央図書館」建設に関しては「新たな静岡県立図書館を望む会」として、知事、県教育長に要望書を渡すなど引き続き活動を行いました。



今年度も新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、総会、講演会をはじめ鈴木史穂さんの講座(秋に開催予定・詳しくは次号会報で告知)、県知事選の候補者への公開質問状、2回の会報発行、ホームページ更新、市立図書館への本・雑誌の寄贈、市立中央図書館と共催のしずとしょフェスタなどを実施してゆく予定です。

アーサー・ビナード氏の講演会は52人の会員のご参加をいただきました。「コロナ禍」の中、延期を検討しましたが、アーサー氏の強い要望があり開催しました。テーマは「細胞の言葉とウイルスの言葉」で、2012年の講演「カチカチ山に死の灰が降る日」の話から入り、放射能、そして原子爆弾の話へと続けました。この間、丸木俊・位里夫妻の「原爆の図」の一部を絵とし、アーサー氏が文章を付けた紙芝居『ちっちゃいこえ』が演じられました。作者自身の語りで、紙芝居を見ることができたことは、貴重な体験でした。その後、ウイルスと細胞の話に移り、原爆被災者への差別が今の時代とどう繋がるのかについて語りました。なおこの講演会は会員に限り、Zoomで配信し、10の方が参加しました。



来年の総会と講演会も3月に予定しています。いよいよドリアン助川さんの登場です。ご期待ください。

活動報告

2020年のしずとしょフェスタは静岡市美術館「絵本画家 赤羽末吉展」とのコラボレーションで開催されました。館内では、中央図書館（分館含む）で活動している読み聞かせボランティアによる「おはなしで楽しむ赤羽末吉の世界」、馬頭琴やモンゴル民族衣装の展示、市美術館展覧会見どころ紹介映像、スタンプラリーなどが行われました。また、静岡市美術館においても、展覧会関連イベント「絵本をたのしむおはなし会」での絵本の読み語りに協力しました（右頁）。

2020 しずとしょフェスタ 絵本画家・赤羽末吉の世界を楽しむ 静岡市立中央図書館 9.27(日)



あさはたお話の会
音訳ボランティアひびきの会
静岡おはなしの会
静岡図書館友の会
ねこバス



多くの制限のなか、様々な配慮をしながらの開催となりました。アンケート結果は高評価で、来場されたみなさんに楽しいひとときを提供できたと思います。新しい実施方法の模索は、その後のイベント運営の参考になりました。静岡図書館友の会の皆様には企画段階からご協力いただき、心から感謝申し上げます。

(静岡市立中央図書館 春寄 由紀)

静岡市美術館開館10周年記念

生誕110年・没後30年 絵本画家 赤羽末吉展『スーホの白い馬』はこうして生まれた

展覧会関連イベント 絵本をたのしむおはなし会

静岡市美術館 10.10(土)、10.31(土)、11.14(土)



葵お話の会
あさはたお話の会
音訳ボランティアひびきの会
静岡おはなしの会
静岡図書館友の会
ねこバス

コロナ禍でいつもと異なる実施形態となりご不便をおかけしましたが、読み語りの声に耳を傾け、スクリーンに大きく映された絵本を見ると、ずっとその世界に引き込まれるようでした。久しぶりに味わうなつかしい感覚...本当にありがとうございました。(静岡市美術館 安岡 真理)

令和2年度 第1回静岡市図書館協議会報告

静岡図書館友の会運営委員 清 尚子

令和2年12月18日 静岡市立清水中央図書館にて今年度初めての図書館協議会が行われました。これまで年4回程度開催されてきた本会議は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度はこの1回のみとなりました。委員は全10人で私は「学校図書館を考える会・静岡」から推薦されました。

冒頭、教育局次長が「図書館とはどんな時にもどうにかして開館していることが第一」と話されたことが印象的でした。

会議では、まず事業報告、続いて中央図書館の大規模改修について建物の長寿命化、安全性向上、読書環境の向上、公園との相互利用を進めるため今年7月まで休館予定であることが報告されました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について、利用者の来館記録をとることは「図書館の自由に関する宣言」に抵触しないかという意見がありました。中央図書館の今後の事業・サービスでは、Park-PFI事業で城北公園にできるカフェ(公募事業者で12月開店予定)と連携することを大きく取り上げました。より使いやすく明るいイメージの開かれた図書館に変わる計画を立てていることが分かりました。

市内図書館ニュース

新型コロナウイルスに負けないわたしたち

静岡市立中央図書館 サービス係長 田中 邦子

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、令和2年2月末からおはなし会や映画会、単発企画の講座の中止、長時間の滞在をご遠慮いただく呼びかけ、閲覧室も最終的には利用停止となり、4月の全国的な緊急事態宣言により、なるべく開館し続けるという姿勢でいた静岡市も、ついに4月25日から5月18日まで臨時休館せざるを得ませんでした。

予約資料の受け取り対応を挟み5月19日から再開できても様々な対策、制限は現在も続いています。カウンターでお客さんと対応するのにもマスクとビニールシート越しでは表情も声もよくわからず、返却図書の手洗いや一定期間放置後の排架、館内の定期的な消毒、入館記録票への記入の呼び掛けなど、今までにない仕事も増え、職員の間にも先が見えない不安や疲れが広がっていました。

こうなると、新しいことをやる気持ちもなかなか沸いてきません。けれどこのままではいけない、できなくなったことを嘆いて、やらない理由を言い募るより、今わたしたちができること、みんなが楽しくなれることをしよう、と切り替え、以下の2つの視点で取り組みました。

1. 図書館に来なくても、または短時間の滞在でも楽しめるもの

館内での滞在時間が短くても本を借りていただきやすいように、また、おはなし会の中止を残念がる多くのお声に応えるために生まれた「おうちde読み聞かせ」事業。

図書館でのおはなし会の代わりに、おうちで家族と一緒に読み聞かせを楽しんでいただくこと、テーマに沿った絵本を2、3冊ほど紙テープでま

とめ、図書館が発行するおすすめ絵本リスト「この本ばーった」と、ちょっとした読み聞かせのコツやメッセージを添えました。このセットの作成には読み聞かせボランティアの方にもお手伝いいただいています。



また、どの館でも、館内のあちこちに特集展示が設けられていることにはお気づきでしょうか。閲覧席を撤去した場所を使って様々なミニ展示を行い、新しい本の発見のお手伝いができればと思っています。

「#本でしりとり」。静岡市以外に図書館の公式ツイッターをお持ちの袋井市、藤枝市、静岡県の4者で本のタイトルでしりとりをしながらそれぞれのツイッター上でおすすめ本の紹介をする、というものです。それぞれのフォロワーさんたちが他の図書館の活動にも興味を持ってもらえることを期待して行いました。

2. 既存事業の開催方法を工夫し、三密にならないよう開催したもの

まず、中央館で毎年開催している「夏休み子ども向け講座」。貴重な科学系のイベントで、今年度も昨年度に開催して大人気だった磐田市の竜洋昆虫自然観察公園職員「こんちゅうクン」の講座を



アンコール開催する予定でしたが、集合講座ではなく、公式ツイッター上にこんちゅうクンからの生き物に関する問題とその回答・解説を日替わりでアップするという形で開催しました。

また、中央館で年2回行う音楽のコンサート。中高生の音楽系部活に声をかけ、本の紹介とその本の世界に合う曲を演奏してもらう「YAコンサート」と静岡室内楽協会による「ライブラリーコンサート」は、2階視聴覚ホー



ルを会場として定員 100 人で行っていましたが、参加者同士の距離をとると 20 人程の定員にしかできません。そこで、『図書館をコンサートホールに』をキャッチフレーズに、2階の吹き抜け部分で演奏していただくことで館内全体に音楽が鳴り響き、その時来館している方すべてが、本を選んだり読書を楽しんだりしながら演奏を聴いていただくことができるようにしました。

中央図書館で毎年開催する「しずとしょフェスタ」も、講師からの講義を短い動画にして、当日会場でリピート再生することで少人数のグループで多くの方が入れ替わり講義を聞いていただける形にし、子ども向けイベントも密にならないようスタンプラリーを実施しました。

コロナ対策のためにやらなければならないこと、あきらめなければならないことは多くあります。けれどそれだけではなく、コロナ禍でもできること、このような状況だからこそできることを探して、これからもわたしたちは精一杯サービスを続けていきます。ぜひこれからも図書館をご利用ください。職員一同、お待ちしております！

図書館からこんにちは 育休の意味を考える



昨年、第一子が誕生し、5ヶ月間育児休業を取得しました。男性の育休取得率も向上していますが、男性が育休を取得する意味とはなんでしょうか。夫婦2人で子育てをすることはもちろんですが、私はパートナーの自由な時間を作ることに大きな意味があると思います。両親と同居している場合は別ですが、家の中で1人で子育てをすることは想像以上に大変です。ましてや、第一子ともなればわからないことだらけで不安なことも多い状態です。女性だけでなく男性が育

静岡市立中央図書館 主任主事 小松 英史

休を取得し、早く育児を覚えてしまえば2人で育児・家事を分担することもでき、たまには1人で自由な時間を過ごすなど精神的なゆとりを持つことができます。そのためには、ある程度長い期間育休を取得することが必要になると思います。子どもは夫婦2人の子です。様々な事情があるかもしれませんが、できる限り男性も育休を取得して積極的に育児に参加してほしいと思います。

新静岡県立中央図書館の建設状況について

新県立中央図書館の建設計画は予定より若干遅れるものの2026（令和8）年完成をめどに進んでいます。県教委は今後の対応について下記のように回答しています。（一部抜粋）

【令和2年12月議会】

- ・今後、基本計画に基づき検討していく。
- ・200万冊収容を目指す。
- ・レファレンスサービス等の多様なサービス、情報拠点、交流の場としての役割を重視。
- ・電子図書館など遠隔地の人への利便性も図る。
- ・知と学びの象徴として品格のある水準の高い図書館を作りたい。

【令和3年2月議会】

- ・情報通信技術（ICT）人工知能（AI）を導入しデジタル技術による変革の実現。
- ・県立図書館にふさわしい蔵書と専門性の高い機能の拡充。未来に繋がるアフターコロナ時代の新しいタイプの総合図書館をめざし事業費総額180億円程度の予算。
- ・機能性とデザイン性を両立させながらコスト管理を意識していく。
- ・設計公募にあたり、事前に建物に必要な機能を洗い出し、その条件を踏まえた上で創意工夫をこらした提案を求める。
- ・未来にわたり県民の誇りとなり、機能的で使いやすく県民に親しまれる図書館になるよう努める。

なお、2月11日付け静岡新聞によると社会教育課内に新館建設準備室を新設し新たにハード整備の技術面を総括する技監を置き、運営企画班と施設整備班の職員を含め3人増員するようです。木苗教育長も「参考にしたい」と言及した社会教育課主催の新館へのアイデアコンペは多数の応募があり、当会会員の市川博章氏も受賞しました。詳しくは県の下記HPをご覧ください。4月29日まで静岡県立中央図書館で応募作品が展示されています。

https://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/shintosyokan/idea_competition2.html

また、静岡県HPに「新県立中央図書館基本構想」及び「新県立中央図書館基本計画」を受け、導入機能や施設計画、事業手法などについて取りまとめた「新県立中央図書館整備計画」が3月にアップされました。

しずとも情報

以下のイベントを開催予定です。詳細が決定しましたら、当会HP、次号会報等でお知らせします。

- 2021しずとしょフェスタ（今秋予定）
- 図書館セミナー（福島県立図書館司書 鈴木史穂氏講座：今秋予定）
- 2022年度総会・ドリアン助川氏講演会（2022年3月予定）

静岡図書館友の会会報 No.25 2021.4
静岡図書館友の会 代表 田中 文雄
連絡先：(事務局携帯) 080-6910-9434
Eメール：sizutomo2008@yahoo.co.jp
HP：http://shizutomo.sakura.ne.jp/
会員数：215人（2021年3月現在）

編集後記

・これまで編集に関わってくださった市川博章さんが北海道へ移住することになりました。私としては夢がふくらむやら悲しいやら複雑な心境ですが、新編集長のおかげで会報発行にこぎつけました。感謝（S）
・遅まきながら、リモート飲み会ならぬお茶会デビュー。画面越しの友人の子どもの成長っぷりにびっくりし、会えなかったこの1年という時間を改めて思いました。新しく編集担当になりました。よろしく願います。（Y）